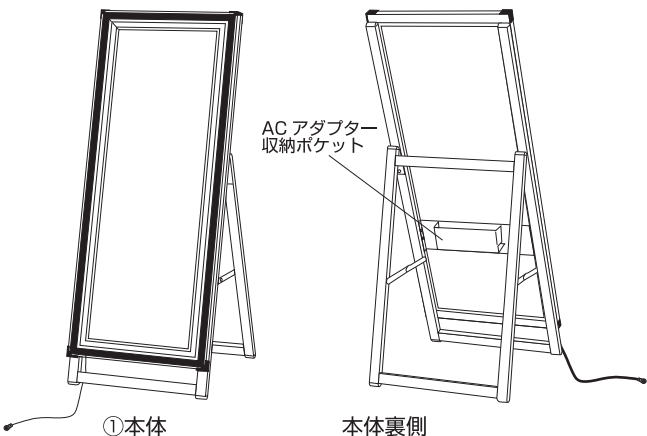


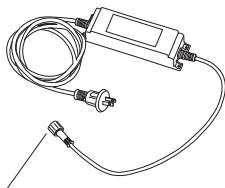
組立の前に必ずお読みください フラッシュ A 製品組立取扱説明書

この度は、お買い上げいただきありがとうございます。人体および財産への危害や損害を未然に防ぐため、本書をよくお読み頂き、内容をご理解された上で正しくご使用ください。

構成部品 (作業を始める前に構成部品の確認を必ずお願いします)



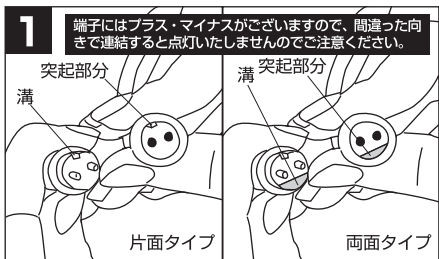
② AC アダプター



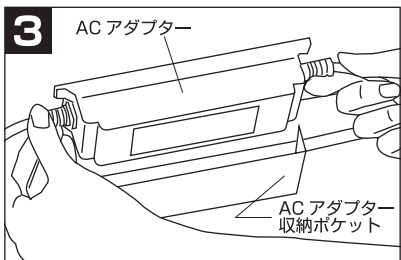
③ コード吊下用フック

※片面タイプは2ヶ
両面タイプは3ヶ付

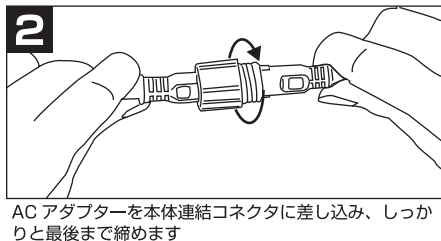
●電源コードのセット方法



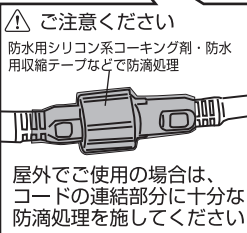
端子にはプラス・マイナスがございますので、間違った向きで接続すると点灯いたしませんのでご注意ください。



ACアダプターを収納ポケットに収納します



ACアダプターを本体接続コネクタに差し込み、しっかりと最後まで締めます



付属のフックでコード吊り下げます。

●ポスターの出し入れ方法



フレームの4辺を手で開けます。透明表面カバーがセットされているので、それを外し、ポスターをセットします。表面カバーをポスターの上ののせて四辺のフレームを同様に両手でしめます。

ご注意

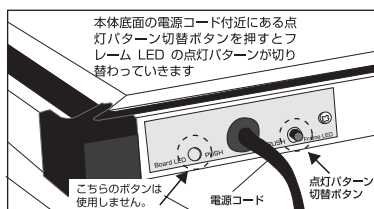
4辺のフレームは必ず両手を使い、フレームに対して均等な力がかかるように開け閉めしてください。片手で開けるなどしてフレームに対して均等でない力で開けるとフレーム歪みや故障の原因になります。

※掲示物はバックライトフィルム(裏面乳白シート)が最適です。尚、コルトンフィルムを使用の場合は別添乳白シートが必要となります。

屋外使用の場合はポスターに防水加工を施してください

※導光板とバックライトフィルムの中に水が入ることがございますが、時間をおくと水が抜けます。

●フレームLEDの操作方法



フレームLED点灯パターン

- ① ブルー→グリーン→イエロー→レッドの順にゆっくりとグラデーションで変化
- ② ホワイト常点灯
- ③ グリーン常点灯
- ④ ブルー常点灯
- ⑤ レッド常点灯
- ⑥ イエロー常点灯
- ⑦ ライトブルー常点灯
- ⑧ パープル常点灯
- ⑨ ブルー→レッド→グリーンの順に切替(急)
- ⑩ ブルー→レッド→グリーンの順に切替(遅)
- ⑪ ピンク→イエロー→ライトブルーの順に切替(遅)
- ⑫ ピンク→イエロー→ライトブルーの順に切替(急)
- ⑬ ブルー ×5 回点滅→レッド ×5 回点滅→ グリーン ×5 回点滅
- ⑭ ホワイト点滅(遅)
- ⑮ ホワイト点滅(標準)
- ⑯ ホワイト全点灯から微点灯へゆっくりとグラデーション変化(遅)
- ⑰ ホワイト全点灯から微点灯へゆっくりとグラデーション変化(急)
- ⑱ OFF

※電源は必ず適正配線されたコンセントからお取りください。(通電不良による火災または、器具不良の原因となります。)

※設置する前に必ず、本体導光板に傷がないか、LEDは点灯するか確認してください。

※製品改良のために、仕様・デザインなどを予告なく変更することがあります。

※シリコン系コーキング剤で防滴処理を施しているため、LEDの光がこくわすかに黄色っぽくなる場合がございますが、使用には影響がございません。予めご了承ください。

※長期間(1年以上)ご使用された場合、導光板・LEDなどが黄色く変色します。ご了承下さい

※本製品は製品自体の防滴効果はありますが、ポスターに対する防滴効果を有していません。

屋外使用の際は中に入れるポスターには必ず防水加工を施して下さい。

※ACアダプターと本体コードとの連結の際は正しい組み合わせで接続させてください。故障の原因となります。

安全に使っていただくために

安全にお使いいただくために、ここに表示された注意事項はお使いになる人や人々への危害・財産への損失を未然に防ぐものですから、必ずお守り下さい。

- フレームの開閉に板バネを使用していますので、開閉時に指を挟まない様に注意してください。怪我の原因となります。
- ランプ及び配線に触れないで下さい。ヤケドや感電の原因になりますので、絶対におやめ下さい。
- 清掃時は、柔らかい布を使用し、導光板にキズをつけない様にして下さい。
- フレームの断面に触れないで下さい。けがの原因となることがあります。
- 本製品は屋内外兼用です。屋外で使用する際は、ACアダプター本体とACアダプターの接続部・掲示物にしっかりと防水加工を施してください。
- 構造部品の改良・改造は絶対にしないで下さい。感電、火災又は器具の故障の原因となります。
- 屋外でご使用される場合は別売りの注水置台と注水タンクのご使用をおすすめいたします。
- 設置の際は、本体が風に揺れますのでまわりには十分注意して下さい。不安定な状態で設置されますと倒れてけがや破損の原因となります。